

巻頭特集・歯の衛生週間

◆ 支部長紹介 & 三重県歯科医師会各支部の歯の衛生週間事業	1
◆ 歯の衛生週間三重県審査	14
東海信越地区役員連絡協議会 (「連携と調和」をテーマに、日歯役員も多数参加して幅広く協議)	18
5月理事会報告 (新型インフルエンザに対応 東海信越地区役員連絡協議会等について協議)	22
6月理事会報告 (3つの臨時委員会が始動 支部長会、地区別講習会について協議)	24
6月支部長会報告 (地区別講習会の意義見直し 今後の在り方について協議)	26
第1回歯科保健大会実行委員会	29
第1回レセプト電算化・オンライン化対策臨時小委員会	29
第1回機構改革臨時委員会	30
第1回コ・デンタルスタッフに関する協議会	30
第1回支部広報編集担当者連絡協議会	31
最新歯科医療実態調査検討委員会	31
平成21年度歯科助手講習会	32
歯科衛生士職業説明会	34
F M三重 cube café 誌上再録	35
小規模企業等共済金の税法上の取扱い	36
会員事業部門生涯研修コーナー (今月の生涯研修該当論文)	38
委員会便り	39
5・6月会務日誌	39
会員消息のページ	41
告知板 (三重県歯科医師親善ゴルフ大会開催決定!!)	42
会員の広場 (第64回東海4県歯科医師親善ゴルフ大会開催される)	43
互助会各部・歯科国保組合の現況	44
編集後記	46

支部長紹介 & 三重県歯科医師会各支部の 歯の衛生週間事業

平成21年6月4～10日の歯の衛生週間には、三重県歯科医師会各支部がそれぞれの地域で国民の歯や口の健康を願って様々な事業を行いました。本号では各支部の歯の衛生週間事業の様子と、その陣頭指揮をとった支部長を紹介します。



県下 11 支部の支部長

- <後列左から> 矢谷伊賀支部長・須川南紀支部長・宮原尾鷲支部長・山本志摩支部長
藤田伊勢度会支部長・長井松阪支部長
- <前列左から> 鎌谷津支部長・岩瀬龜山支部長・渡部鈴鹿支部長・浅野四日市支部長
服部桑員支部長

桑員支部

新体制の目標設定、まずは対外アピールを強化



はっとり おさむ
服部 修 支部長

桑員支部ではここ数年、全会員へのAED無料貸与等の大きな事業をいくつも実現してきました。新体制ではその成果を受け継ぐとともに、新たな目標を定めて取り組んでいきたいと考えています。

これまで地域の企業における歯科検診、健康保険組合と協同での保健指導に力を入れてきましたが、今年度からは地域住民に対しても今まで以上に歯科の重要性をアピールし、行政と連携した歯科保健事業の充実を図っていく方針です。会内部の内向きの改革だけでなく、外向き（地域）の発信を強化し、「歯科医療は健康を守る上でとても大切なんだ」という認識を、地域住民の皆さんにもっと強く持って戴けるように努力していきたいと考えています。

「ひみこのはがいーぜ」を紹介、咀嚼の効用について啓発

6月4日(木)、平成21年度の歯の衛生週間表彰式が桑名市役所大会議室で行われました。桑員地区の各小学校の校医から推薦された「よい歯の児童」36校37名、中学校の校医から推薦された「よい歯の生徒」12校14名の審査と、2市2町の3歳児検診で選ばれた33名の「母と子のよい歯のコンクール」審査を行いました。推薦された方々は皆、虫歯がなく歯並びも良い方ばかりで、各部門とも最優秀の選出に大変苦労するという嬉しい状況でした。表彰式では各部門の1～3位と併せ、地区の小・中学生から募集した「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」の表彰も行われました。

表彰式に先立っての高阪副支部長の講演では、学校食事研究会の標語「ひみこのはがいーぜ」を紹介。ひ＝肥満の予防、み＝味覚の発達、こ＝言葉を正しく発音、の＝脳の発達、は＝歯の病気の予防、が＝がんの予防、い＝胃腸快調、ぜ＝全力投球。一字ずつに込められた意味を説明し、正しい咀嚼は歯と口の健康



やその成長を促すだけでなく、全身の健康につながることを分かりやすくお話ししました。

成徳中学校の塚脇教頭先生からの図画・ポスターの講評では、一つ一つの作品について丁寧に紹介した上で、どの作品にも歯を大切にしようという気持ちが出ていて素晴らしいという評価を戴きました。

(取材：森 一紀)

四日市支部

梅雨明けしたのに、歯科界は曇天



あさの としじ
浅野年嗣 支部長

平成20年に保健所政令市となった四日市市では、保健所が脳卒中・末期ガン等の独自の部会を立ち上げており、その全てについて歯科にも協力要請を戴き、当支部の会員が対応しています。また、研修施設としても機能している障害者歯科診療部には、他県から視察に訪れる方もありますが、指定管理者として経営面、システム面の見直しを図っているところです。30件を超える非会員診療所に対しては入会を働き掛けていますが、支部だけの努力には限界を感じています。

各委員会の学会・研修の他、歯科衛生士不足、公益法人制度改革、IT化、機構改革等、時代の変化に対応すべく、他支部と情報を共有しつつ、より良いものを実現させたいと考えています。

地域メディアとの連携もしっかり「よい歯のコンクール」

今年の「歯の衛生週間」、四日市支部では「よい歯のコンクール」が行われました。コンクールに先立ち5月23日(土)、中日新聞ホームニュースに「歯の衛生週間」の広告を掲載しました。「母と子のよい歯のコンクール」には公募により23組の母子の応募を戴き、「よい歯の児童・生徒」は四日市市及び三重郡の各学校から選ばれた小学校6年生49名、中学校3年生29名を対象に、虫歯・歯肉・歯並び・咬み合わせ・歯の清掃状態等を総合的に審査・判定しました。また「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」は小学校図画の部78点、小学校ポスターの部68点、中学校ポスターの部16点の中から歯科保健の啓発にふさわしい作品を審査・選出しました。

表彰式は6月11日(木)四日市市総合会館で、四日市市長や市議会議長を始めとした大勢の来賓の臨席の下で開催され、最優秀賞・優秀賞が授与されました。また、歯科保健活動に永年貢献された養護教諭に四日市歯科医師会から口腔衛生賞が贈られました。



審査及び表彰式の模様は中日新聞や地元CTYテレビに取材・報道されました。

図画・ポスターの応募作品は6月4日～11日まで四日市市総合会館の1階ロビーに展示され、大勢の市民が数々の力作を楽しんでいました。なお、最優秀作品は来年の「歯の衛生週間」、「さわやか歯科検診」のポスターに起用される予定です。

(取材：伊藤 誠)

鈴鹿支部

助け合いの精神で個人の負担を少なく



わたなべようそう
渡部洋三 支部長

鈴鹿支部では、公衆衛生委員会から新たに在宅介護委員会を独立させました。在宅診療の希望があった時に歯科医師を手配する他、介護認定審査会には10合議体に審査委員を選出し、高齢者のための介護予防事業も進めています。併せて在宅介護に関する勉強会も積極的に開催し、多くの会員が在宅診療や口腔ケアに取り組めるよう努めています。また直近の問題であるレセプトオンライン化と公益法人制度改革についても、特別委員会を設置して準備しています。

会務執行に当たっては、できる限り全員で負担をシェアし、全員で考え、取り組みます。会員全員の健康で幸福な生活を支えつつ、市民に安心安全な歯科医療を提供することが会の使命と考えます。

感染予防に細心の注意を払いながら臨んだ歯の衛生週間事業

6月4日(木)、今年も鈴鹿市保健センターで歯の衛生週間事業が行われました。例年どおり「よい歯の児童生徒地区審査」「いい歯の8020地区審査」に加え、市民を対象とした歯科相談、歯科健診を行った他、歯科衛生士会の協力を得て「フッ素洗口体験コーナー」「咀嚼力検査コーナー」「RDテストによる唾液検査コーナー」「ブラッシング指導コーナー」も設置。それぞれの企画が多くの来場者で賑わいました。今年には新型インフルエンザの発生により事業自体が中止になりかねない状況での開催となり、スタッフ全員と来場者にマスクを配るとともに、アルコールによる手指の消毒を徹底する等、感染予防にも細心の注意を払いました。「8020」や「よい歯の児童生徒」の審査に掛かる待ち時間にも、鈴鹿市のマスコットキャラクター「ベルディ君」と子供たちとの記念撮影やマジックショー等のアトラクションを企画し好評。地元のケーブルテレビ局も取材に駆けつけ、会場内は活気に満ちていました。



歯の衛生週間事業については毎年反省会を行い、改善を重ねてきた甲斐あって、トラブルもなく順調にプログラムを進めることができました。公衆衛生委員会の先生方を始め、歯科衛生士会や関係諸団体の方々の協力の下、今年も無事衛生週間事業を行うことができたことを嬉しく思います。

(取材：呉山隆浩)

亀山支部

会員相互の信頼関係を大切に



いわせ かつよし
岩瀬克利 支部長

皆さんご存知のように亀山支部は県内11支部の中で最も会員数の少ない支部です。支部事業も、全員で協力していかなければ成り立ちません。幸い、若い先生方にも幾つかの委員を兼任して戴き、会員全員で事業に取り組んでいます。

これからも会員の和を大切にし、支部そして県歯事業に取り組んでまいりたいと考えています。

地元の中学生・大学生もスタッフに参加、地域ぐるみの啓発活動

関町は亀山市と合併し亀山市となりましたが、歯の衛生週間事業は亀山市総合福祉センターと健康づくり関センターに分かれて開催しています。今年も6月4日(木)にそれぞれの会場で「母と子のよい歯のコンクール」「無料フッ素塗布」「無料歯科検診・よろず歯科相談」を行いました。支部会員とそのスタッフ、市職員の方々に加え、職場体験として中部中学校の2年生4人と鈴鹿医療科学大学の学生3人にも参加して戴きました。

「母と子の…」は対象者6人の子供たちとお母さんの検診と審査を行いました。昨年4年ぶりに現場復帰して衛生週間事業も手伝ってくれた歯科衛生士さんが、今年はお子さんを連れてコンクールに参加していました。「フッ素塗布・無料歯科検診・よろず歯科相談」は亀山会場に133名、関会場に43名の市民が訪れ、小児のう蝕予防等を始めホームケアについての様々な相談に支部会員が丁寧に回答しました。無料



歯科検診では「父と子でよい歯」の親子も多く、コンクールの対象にならないのが残念なほどでした。

熱心な市民の皆さんと直接触れ合うことで、口腔衛生や歯科疾患の予防についての正しい知識を広める活動の重要性を実感し、今後もこうした啓発活動をさらに有意義に行えるように努めたいと思いました。

(取材：森 誠)

津支部

機構改革による新体制、ネット活用も積極的に



かまたによしと
鎌谷義人 支部長

津支部では機構改革により、関連部署を統括する3名の幹事（常務理事）を軸に副支部長等（副会長、専務理事）が各部署をサポートする新体制を築きました。この機構を支える大きな手段として、インターネット上で意見や情報を共有できるシステムであるグループウェアを活用しています。寺辺前支部長時代から採用してきたものですが、今年度からは幹事だけでなく委員会単位でも利用できるようにして、既に著しい成果を上げています。5年前から会員との連絡手段の電子化も推進していますが、ネット環境やスキルは会員間で格差があるのも現実です。しかし一歩一歩前進を図り、会員全員がレセプトオンライン化に円滑に対応できる環境作りをしていきたいと思っています。

シンケンジャー&シロモチくんと一緒に歯と口の健康を

6月7日(日)、津リージョンプラザにて「歯の健康展」を開催しました。過去2年は抽選漏れなどの理由で郊外の会場を利用していましたが、久しぶりに市中心部での開催ということで1,000名近くの市民の方々が訪れ、歯と口の健康に対する関心の高さがうかがえました。今年は目玉として『侍戦隊シンケンジャー』ショーを企画。歯医者者を拉致し虫歯を増やしていく外道衆にシンケンジャーが立ち向かうというストーリーで、ホール一杯の観客は大いに盛り上がりました。その後、歯科医師会・歯科衛生士会協同による教育講演、市長らの出席の下で「よい歯のコンクール」「歯科保健図画・ポスターコンクール」の表彰を行いました。

歯科医師会企画では、今年から歯の健康相談コーナーに小児・矯正のコーナーを設けたところ大好評。検診コーナーは入会3年未満の若手の先生を中心に行いましたが、昼食休憩もゆっくり取れない盛況ぶり



でした。その他、高田短大生のバルーンアートや食改推進協議会の手作りおやつ、歯科衛生士会のブラッシング指導と三重県立公衆衛生学院2年生のフッ素塗布、歯科技工士の義歯洗浄サービスや石膏人形作り、栄養士の栄養相談・血流チェック・食育クイズ等の多彩な企画を展開。津市の人気ゆるキャラ・シロモチくんも登場して、各ブースを大いに盛り上げてくれました。

(取材：西尾佐和子)

松阪支部

後輩たちにしっかり繋いで



ながいまさひこ
長井雅彦 支部長

若手会員の会務離れを少しでも解消できればと思っています。県歯芝田専務理事の「みんな自分のためだけに会務をやっているわけじゃない。そんな中で働いているうちに会務を好きになった」という言葉のように、他の人のために気持ち良く会務に参加してくれるようにしていきたい。元・航空幕僚長の田母神氏は「最近よく耳にするでしょう？『人生は一度きりだから自分の人生を生きるんです』とかね。そんなのは大間違いです。人は自分の幸せのためだけに生きて満足できない。誰かのために役に立って初めて幸せになれるんです」と語っていました。松阪支部は県下でも団結力のある支部として知られています。先輩方が築いてきた伝統を後輩たちにしっかりと繋いでいきたいです。

平成と共に歩む「歯の健康まつり」

松阪支部では毎年6月に松阪市民文化会館を中心会場として、松阪市と共催の「歯の健康まつり」を開催しています。平成元年に市民の間から「歯・口腔についてもっと知りたい、歯の健康相談をしてほしい」との要望が寄せられるようになり、それまでの「よい歯のコンクール」を発展させた「歯の健康まつり・'89よい歯のコンクール」を開催したのが始まりです。当初は土曜の午後に行っていましたが、平成14年からは日曜開催に変更、第1回は約1,000人だった来場者も現在では2,000人近くになり、市民の行事としてしっかり根付いています。

今年は午前中に70歳以上で歯が20本以上ある方を対象とした「歯っぴいライフコンクール」の審査と幼稚園児・小学生・中学生の「よい歯のコンクール」最終審査を行い、午後からオープニングセレモニーと各表彰というスケジュールでした。市民を対象とした歯科一般・小児歯科・矯正歯科の相談と健診も実施、



昨年からはじめた口腔外科専門医による口腔ガン検診(事前予約制)も好評を得ています。また、歯科衛生士会・歯科技工士会・薬剤師会の協力も仰いでおり、それぞれのブースも賑わっていました。

もれなく当たる抽選会もあって松阪市民の皆様にとっては楽しく過ごして戴く一日になっていますし、私たちにとっては松阪支部が結束して一つの事業を成し遂げる最高の一日です。

(取材：北野 晋)

伊勢度会支部

伊勢地区歯科医師会会員であることに誇りを！



ふじた おさむ
藤田 導 支部長

平成の大合併を機に伊勢市と度会郡の歯科医師会が合併し、伊勢地区歯科医師会として歩み始め3年になります。最初はお互いに戸惑いもありましたが、各種事業等を通じて一体化が進み、溝もなくなりつつあります。私たちにとって今後も厳しい時代が続きますが、新しい発想や胆力のある先生方を理事に迎え、マンネリ化からの脱却、口腔保健宣言を核にした地域の特性を考慮した事業の創造が期待できます。勿論、各ライフステージに応じた歯と口の健康づくりも行政と協働して行います。地域社会の健康の担い手として信頼を得ていけば、きっと光明も差してくるでしょう。全員が医療人として、また会員であることに誇りを抱いて社団設立30周年を祝いたいと思います。

好評！食育コーナー 白衣からエプロンに着替えて

新型インフルエンザの感染拡大問題で実施が危惧される中、6月7日(日)、歯の衛生週間事業をハートプラザみそのにて開催。「親と子のよい歯のコンクール」「よい歯の児童生徒の審査並びに表彰」「伊勢・度会地区8020コンクール優秀者」「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」の表彰が行われました。表彰式に併せたイベントとして無料歯科検診、無料歯科矯正相談に加え、2回目となる伊勢度会支部自慢の「食育コーナー」も実施しました。

参加者50名で「'09楽しく食べて元気をもらおう」と題し、ベジタブル&フルーツマイスターによる講話と地元食材を使った料理の試食、レシピ紹介を行い大盛況でした。講話では、地元三重県の伝統野菜の説明や、地域で生産されたものを地域で消費することだけでなく、地域で生産された農産物を地域で消費しようという活動を通じて、農業者と私たち消費者を結びつける取組みである地産地消の推奨等、とても興味深い話を聴くことができました。



写真をご覧ください。左が山中寛貴先生、右が中村好樹先生です。いつもは白衣の先生たちもこの日はエプロン姿に着替えての奮闘。なかなか似合っているでしょう？「アンチョビ入りトマトソース de キャベツステーキ」「ひじきごはん」等のメニューは味も抜群、参加された方々にも大好評でした。

(取材：富田 薫)

志摩支部

全員一丸となって厳しい時代に対応



やまもと おさむ
山本 修 支部長

昔は高額所得者の仲間に入っていた歯科医師が、ワーキングプアと言われるほどまでに厳しい時代になってきました。今後も状況が厳しくなると予想される中で、会員の皆様に少しでも役に立てるように頑張っていきたいと思っています。志摩支部は人数が少ないので、事業を行おうとすれば会員の先生方に大きな負担をかけてしまうことがあります。多くの先生方はこのことを理解して、とても熱心に協力してくれます。支部の事業が個々の先生方に良い結果をもたらすように考えていきたいと思っておりますが、まだまだ未熟ですので今後とも皆様のご理解とご協力を戴きながら、全員一丸となってより良い支部にしていきたいと思っております。

フッ素洗口・キシリトールや咀嚼・嚥下について啓発

6月4日(木)、志摩市の阿児アリーナにおいて、鳥羽志摩地区「よい歯のコンクール」「歯・口の健康に関する児童生徒図画・ポスター展覧会」が開催されました。

歯科医師会を中心として教育委員会、志摩市職員の方々の協力の下、参加人数約150人と盛大に執り行われました。母子部門・小学生部門・中学生部門の代表者が来場し、会場にて口腔内診査を受けられました。会場ではフッ素洗口等の重要性について学ぶDVDを鑑賞して戴いた他、歯科衛生士会による咀嚼・嚥下時の舌の働きについてのスライドを交えた講演も行われました。参加者ととも実際に舌の位置や動きを確かめ、キシリトールガムを使用するのトレーニング方法等についても学んで戴きました。

その後、山本 修支部長から挨拶があり、表彰式へと移りました。母子部門最優秀賞を森 皓史さん・貴紀子様(磯部町)、同優秀賞を田中壮汰さん・知子様(浜島町)、平賀俊吉さん・真知子様(志摩町)、小学生



部門最優秀賞を松田智華さん(浜島町)、同優秀賞を山本七瀬さん(志摩町)、東岡朋希さん(志摩町)、中学生部門最優秀賞を山村怜央さん(越賀)、同優秀賞を柴原 僚さん(浜島)、笹山 尊さん(東海)がそれぞれ受賞されました。

(取材：大山 洋)

尾鷲支部

和やか尾鷲支部



みやはらしんじ
宮原慎児 支部長

現在会員23名、そのうち終身会員の先生が8名になりました。この地域は高齢化が進み尾鷲支部も例外ではありません。保険診療だけではなかなか経営が安定しない中、支部長就任に当たって3つの目標を立てました。第一に地域の人々から信頼される歯科医師会になれるよう努力する。第二に安心安全の歯科医療かつ安定経営の維持。第三に、会員相互のより一層の親睦を図る。

個人的に信頼されている先生は多いと思いますが、歯科医師会尾鷲支部として信頼されるにはどうしたらよいか試行錯誤の毎日です。苦しい経済状況の中でも支部事業に協力して戴き、笑顔を絶やさない和やかな尾鷲支部です。

特選3点・入選32点／図画・ポスターコンクール

毎年、県教育委員会・県歯科医師会等のご協力を戴き、歯の衛生週間にちなんだ3つの事業が行われています。人口過疎化の影響を受け、「母と子のよい歯のコンクール」は毎年応募者が少なく選出に苦労するのですが、「よい歯の児童・生徒」は少数精鋭、「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」に関してはおそらく人口比県1位の応募があります。地元教育委員会・教職員の先生方のご協力に厚く感謝いたします。

今年度も尾鷲市と紀北町の小・中学生から1,175点の応募があり、教育委員会のご協力の下で図画・ポスターの小学校低学年・高学年、ポスターの中学校の3部門の特選3点、入選32点を選出しました。

特選は次の皆さんです。

小学校低学年：垣内磨雄（東小）

小学校高学年：濱口航希（相賀小）

中学校：高芝 楓（尾鷲中）

3年連続選出されている尾鷲中学3年の高芝さんは、全国的に評価されており、出品された作品はことごとく入選・入賞されています。今後の県審査、日歯の審査を大いに楽しみにしています。

（取材：松井俊哉）



南紀支部

一致団結して積極的な実行を！！



すがわ よういち
須川洋一 支部長

この度、新支部長となりましたが、先頭に立ち人をぐいぐい引っ張っていくタイプではないので、他役員の先生と相談、協力しながら会務を滞りなく進めていきたいと思っています。学童のう蝕本数が多いことや、地震等災害時の歯科医療救護に関する行政との協定等、南紀支部が抱える問題について適切に対処していく所存です。

私の入会した頃に比べ、最近入会した先生は県歯との関わりが少なくなり、県歯へ出向くことが減っていると感じるので、講習会、事業等に積極的に参加するよう勤めていきます。また、会員数が少ないため1人で多くの事業に参加することになりますが、親睦を図りつつ全会員一致団結して、2年間無事務めたいと願っています。

南紀地域の口腔歯科保健向上へ決意を新たに

6月4日(木)御浜町公民館にて、紀南学校保健会その他のご支援ご協力の下、「よい歯の児童生徒」及び「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」の審査を実施しました。

「よい歯の児童生徒」については、須川洋一南紀支部長を代表として、支部公衆衛生委員の西村比志・鈴木義人両先生、中本雅規先生と私、和手紀明の4人による厳正な審査の下、熊野市及び南部管内最優秀者を選出。併せて「図画・ポスターコンクール」の地域優秀作品3点（小学校1～3年1点、4～6年1点、中学校1点）も選出しました。

当地域はDMF指数が県内において毎年最下位付近に低迷、一人当たりの虫歯の本数が非常に多い地域で、8020達成者数も少ないのが現実です。今回各学校で審査対象に選出された児童においても、口腔内の状態の良好な児童は少なく、虫歯、歯列不正、歯肉炎が多数の児童に見受けられました。



このような結果を踏まえ、当地域でのDMF指数の改善、児童・学童・市民の虫歯予防に対する知識の向上のため、歯科保健指導、ブラッシング指導、フッ素塗布等の公衆衛生活動の実施や、我々歯科診療所のより一層の努力が必要だと思われました。

(取材：和手紀明)

伊賀支部

学術研修と会員親睦を二本柱に



やたにけんいちろう
矢谷憲一郎 支部長

伊賀支部は、3年前に伊賀地区の上野市と島が原村、阿山町、伊賀町、大山田村、青山町とが合併し伊賀市が誕生したのを機に、青山町における歯科医師会のねじれ状態を解消するために、上野支部と名張支部が合併して誕生した会員75名の支部です。伊賀市と名張市の2つの行政に対応するのは大変ですが、伊賀地区及び名張地区の役員がそれぞれ対応に当たっています。

新執行部の方針としては、充実した学術講演会及び研修会の開催と、会員相互の親睦を二本柱として執行してまいります。9月27日(日)には、ペリオとインプラントが専門の畠山善行先生の講演会を予定しております。先生方のご来場をお待ちしております。

新型インフルエンザに振り回された「よい歯のコンクール」

半年前から伊賀町・ふるさと会館いがを予約、行政及び教育委員会と何度も打合せを行って準備を進め、立派なホールで「よい歯のコンクール」が開催できることを役員一同楽しみにしていました。

ところが5月に入りメキシコで発生した新型インフルエンザが世界へと拡大、日本国内でも兵庫・大阪等で感染が広がる事態になりました。県内での発生こそ確認されていませんでしたが、名張市は1日1万人が大阪へ通勤し、大阪から名張を訪れる人も2,000人に及ぶ地域です。この時期に開催して大丈夫なのかという声が聞こえるようになり、我々役員としても感染予防に必要な様々な配慮に完璧を期することができるのかという懸念を払拭できず、5月24日の役員会において、今年はイベントスタイルを中止して、顎模型と書類審査のみとすることを断腸の思いで決断しました。開催予定だった6月4日までは時間もなく、その後の関係機関との調整作業では倒れるほどの忙しさになりました。



「母と子の…」は書類審査により伊賀市田端町の高柳宇津美さん・実愛ちゃん親子を最優秀に、「児童生徒」は顎模型審査により伊賀市久米小学校の藤田 翔君と名張市北中学校の高原千智さんを最優秀にそれぞれ選出。表彰式は6月22日伊賀市役所で内保市長出席の下、最優秀者を対象に行いました。

本当に新型インフルエンザに振り回された1か月でした。来年は終息しているように願っています。

(矢谷憲一郎 記)

▲広報編集委員会からのお知らせ

えっ、まだ 登録してないの？

三重県歯科医師会では、すでに約50%の会員が
会員宛配布物E-MAIL&メールマガジン配信の登録をしています

会員宛配布物 E-MAIL配信登録

登録者に専用メールアドレスを割り当て！
冊子・ポスター等を除くほとんどの文書をデータ配信！
県内どこでも同時に届く！
希望者には紙媒体でも送付されるけど、せっかく登録する
ならデータだけにして紙ごみ減量、ちょっとエコ♪



三重県歯科医師会 メールマガジン

E-MAIL配信登録者に毎週メルマガも配信！
三重県歯科医師会の最新情報がいち早くお手元に！
ホームページ更新情報掲載、新着情報を見逃さない！
毎月歯科関連ニュースクリップをお届け、ネットサーフィン
をする暇のない忙しいあなたに最適！

【県歯HP】 ↓

三重県歯科医師会 E-MAIL 配信

E-MAIL 配信申込みはこちら

メールソフト設定手順書

会員宛配布物

さあ、三重県歯科医師会ホームページ・会員Onlyトップページから
「E-MAIL 配信申込みはこちら」

<http://www.dental-mie.or.jp/only/mail/mousikomi.html>

に、今すぐアクセス！

歯の衛生週間 三重県審査

歯の衛生週間事業の審査・コンクールにおいて、各支部での第一次審査に続いて県での第二次審査が行われました。受賞者は以下のとおりです。

ご協力を戴きました各支部の先生方並びに市町関係者の方々、ありがとうございました。

第58回母と子のよい歯のコンクール

最優秀	田川麻衣子	聖菜	四日市支部
優秀	廣瀬知美	由芽	桑員支部
〃	中島亜矢	琉晴	鈴鹿支部
〃	谷口舞子	雄太	亀山支部
〃	野邊千穂	慧哉	津支部
〃	九鬼幹子	奨太	松阪支部
〃	曾野沙栄子	壱晟	伊勢度会支部
〃	森貴紀子	皓史	志摩支部
〃	田中優	駿也	尾鷲支部
〃	古川暁子	楓	南紀支部
〃	高柳宇津美	実愛	伊賀支部



平成21年度よい歯の児童生徒審査表彰

最優秀	伊藤美音	桑名市立大成小学校	桑員支部
優秀	加賀寿奈	菰野町立鶴川原小学校	四日市支部
〃	勢司かおり	鈴鹿市立神戸小学校	鈴鹿支部
〃	濱野仁志	亀山市立井田川小学校	亀山支部
〃	仲竜ノ介	津市立大里小学校	津支部
〃	北村朱里	松阪市立第三小学校	松阪支部
〃	山添智貴	大紀町立大紀小学校	伊勢度会支部
〃	松田智華	志摩市立浜島小学校	志摩支部
〃	奥川栞里	紀北町立志子小学校	尾鷲支部
〃	寺本美香	紀宝町立鶴殿小学校	南紀支部
〃	藤田翔	伊賀市立久米小学校	伊賀支部



受賞の言葉

母と子のよい歯のコンクール最優秀 田川麻衣子さん・聖菜ちゃん

私たち親子が最優秀に選ばれたのは、まず私の歯を守ってくれた母のお陰だと思います。私自身は小さい頃には歯磨きが好きではなかったのですが、母が私のためにと歯磨きをしてくれたことを覚えています。

娘は自分では歯磨きをしてくれるのですが、いざ仕上げ磨きとなると、嫌がり逃げ出すこともありました。虫歯のことを「ムシバーマン」と名付けて、歯磨きの時には「ムシバーマンがいるよ」「お母さんがやっつけてあげる」と話しかけるようにしたり、チョコレートや飴等のお菓子を食べる時には「後で仕上げ磨きをちゃんとさせてね」と約束するようになりしました。それでも、家族でなだめながらどうにかやってきたという感じでした。

今回、このような素晴らしい賞を戴き、私も娘も大変喜んでます。娘も虫歯がないことが、

こんなにすごいことだと思っていなかったようで、今では自分からすすんで歯磨きをし、私がうっかりしていると「お母さん、歯磨き忘れているよ」と教えてくれるようになりました。大好きなキャラクターの歯ブラシとフルーツ味の付いた歯磨き粉を使って楽しく歯磨きをしています。また、弟が歯磨きを嫌がっているのを見ると、私の真似をして弟をなだめ、手伝ってくれるようにもなりました。

このコンクールは私たち親子にとって、歯がきれいで丈夫であることの素晴らしさと歯磨きの大切さを改めて実感する良い機会となりました。将来、娘とその子供が「母と子のよい歯のコンクール」で最優秀賞を戴けるようになることを、そして私も8020を達成することを目指して、これからも頑張っていきたいと思います。



審査風景 平成21年6月25日(木)

母と子のよい歯のコンクール

よい歯の児童生徒審査表彰

審査委員

三重県健康福祉部健康づくり室主幹 芝田登美子

三重県教育委員会

生徒指導・健康教育室充指導主事 櫻井 香

三重県歯科医師会常務理事

中井孝佳

三重県歯科医師会理事

杉原信久

三重県歯科医師会公衆衛生委員

平成21年度歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール



〔小学校低学年の部〕 図画・ポスター

最優秀	高松遼太朗	松阪市立徳和小学校	2年	松阪支部
2位	阿久津瞭夏	亀山市立野登小学校	3年	亀山支部
〃	西山温大	伊勢市立城田小学校	1年	伊勢度会支部
〃	森下海	熊野市立遊木小学校	2年	南紀支部
3位	伊藤朱里	桑名市立多度東小学校	3年	桑員支部
〃	阿部純怜	鈴鹿市立稲生小学校	2年	鈴鹿支部
〃	利藤愛菜	津市立成美小学校	2年	津支部
佳作	中野晴達	四日市市立羽津小学校	3年	四日市支部
〃	下村桃世	鳥羽市立弘道小学校	2年	志摩支部
〃	垣内磨雄	紀北町立東小学校	3年	尾鷲支部
〃	橋本由佳	名張市立名張小学校	1年	伊賀支部



〔小学校高学年の部〕 図画・ポスター

最優秀	仲村藍里	津市立立成小学校	5年	津支部
2位	高倉睦	伊勢市立厚生小学校	6年	伊勢度会支部
〃	稲葉夏菜	志摩市立成基小学校	6年	志摩支部
〃	山口冬馬	熊野市立小阪小学校	4年	南紀支部
3位	和田菜々子	亀山市立神辺小学校	6年	亀山支部
〃	濱口航希	紀北町立相賀小学校	5年	尾鷲支部
〃	森川裕司	名張市立桔梗が丘小学校	6年	伊賀支部
佳作	南川佳菜	桑名市立存在良小学校	6年	桑員支部
〃	森本彩楓	菰野町立菰野小学校	4年	四日市支部
〃	西村麗南	鈴鹿市立栄小学校	6年	鈴鹿支部
〃	脇田彩花	松阪市立徳和小学校	4年	松阪支部



〔中学校の部〕 ポスター

最優秀	高芝楓	尾鷲市立尾鷲中学校	3年	尾鷲支部
2位	三井貴世良	鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校	3年	鈴鹿支部
〃	近藤絢乃	亀山市立中部中学校	3年	亀山支部
〃	岡出さくら	伊勢市立宮川中学校	2年	伊勢度会支部
3位	橋本玲	四日市市立朝明中学校	3年	四日市支部
〃	廣島秀則	松阪市立嬉野中学校	1年	松阪支部
〃	北浦奈那美	伊賀市立緑ヶ丘中学校	1年	伊賀支部
佳作	北村菜摘	桑名市立正和中学校	2年	桑員支部
〃	今西珠美	熊野市立有馬中学校	2年	南紀支部

審査講評

津市立育生小学校教頭 古金谷初美

歯・口の健康を推進する運動の一環として取り組まれている「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」へ県下から398校、9,930点もの応募がありました。その中から、小学校低学年の部11点、小学校高学年の部11点、中学校の部9点について、慎重に審査を行いました。

今年度も、作者の気持ちが込められた素晴らしい作品ばかりで、技術的にも高く、丁寧に仕上げられていました。

まず、小学校低学年の作品は、パスや水彩絵の具を効果的に使い、歯磨きの様子を伸び伸びと表現していました。特に最優秀の高松さんの作品は、パスと水彩絵の具を組み合わせることで色に深みを出し、大きく口を開けた表情や歯の並び方にも気を遣い、力強くしっかり描けていました。二席・三席の作品も、パスや水彩絵の具をうまく使い、表情豊かに描かれていました。

次に、小学校高学年の作品は、作者の個性が光り、キャッチコピーや文字に工夫がみられま

した。特に最優秀の仲村さんの作品は、技術的にも高く、ポスターとして人を引きつける力強さを感じました。二席・三席の作品も歯への自分の思いが伝わってきます。歯の健康が「食」はもちろん、いろんなことへの「がんばり」にも影響するということを訴える作品もあり、あらゆる面での歯の大切さを感じさせられます。

最後に中学生の作品は、技術の高さとアイデアに感心させられました。レタリングも色や字体に工夫がみられます。特に最優秀の高芝さんの作品は、構図や色使いの良さ、描かれている犬の生き生きとした様子など技術も高く目を引きました。二席・三席の作品も効果的な色使いと作者の意気込みがしっかり伝わってきました。

今後も、あらゆる角度から「歯や口の健康」の大切さを考えた、アイデアのいっぱい詰まった作品を期待しています。そして、図画やポスターの作品を通して、「歯や口の健康」を守る運動が一層広がることを願って審査講評とします。



審査風景 平成21年7月2日(木)

歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール
審査委員

津市立修成小学校校長 稲垣 雅 敏

津市立育生小学校教頭 古金谷初美

三重県教育委員会

生徒指導・健康教育室指導主事 内山 睦 之

三重県歯科医師会常務理事 中井 孝 佳

三重県歯科医師会理事 杉原 信 久

東海信越地区 役員連絡協議会

平成21年5月16日（土）
岐阜グランドホテル

「連携と調和」をテーマに、日歯役員も多数参加して幅広く協議

5月16日（土）、東海信越地区歯科医師会役員連絡協議会が開催された。従来の東海4県から、長野県・新潟県を加えた東海信越6県へと拡大しての最初の協議会である。今回は日歯役員も多数出席し、国保組合役員・連盟役員の協議会も併催されたため200名を超える盛大な会となった。

冒頭、挨拶に立った当番県・岐阜県歯高木会長は、現在の歯科医療を取り巻く環境の厳しさについての認識を示しつつ、「この国には何でもある。だが、希望だけがない」という作家・村上 龍の言葉を引き、転換期にこそ希望につながる危機感を共有すべきだと訴えた。

日歯大久保会長、日歯連盟蒲生副会長の来賓挨拶からは、従来から協力関係にあった東海地区・信越地区がさらに連携を深め、日歯の中核でもその力を発揮するよう期待されていることが伺われた。

全体協議の後は、8つの分科会に分かれて各担当分野についての協議が行われた。分科会にも日歯の担当役員が出席し、中央での動き等について詳細に報告されている。

一方、この日は新型インフルエンザの国内感染が初めて確認され、日歯中尾常務理事が急きょ地元兵庫県歯に戻る等、慌しい動きもあった。

（広報編集担当理事・熊谷 渉 記）





歯科医療再生検討会と 国民会議を両輪に

日本歯科医師会
大久保満男会長挨拶

日歯前執行部で全国7地区への再編が承認され、東海と信越も一つの地区となった。両地区は今までも年に一度は会合を開いており、私自身、静岡県歯会長当時から交流があった顔ぶれを前にして懐かしい感じを覚えている。

歯科界は「厳しい冬の時代」等という季節になぞらえた比喻で事足りる状況を越え、もはや音を立てて崩れ始めているのではないか。そうした恐怖を実感させられたのが、今年度私立歯科大学の定員割れという事態である。世間がもう歯科医師を魅力ある職業とは見ていないことが歴然と示された。高齢社会を迎えて歯科医療はますますその重要性を増しているにも関わらず、国民がそのような目で見ているという落差を何とか埋めていかなければならない。

歯科医師の工ゴではなく、歯科医療が本当に大切なのだという根拠を政府や国に示さなければ、国策としての医療政策の中に歯科医療費の財源を確保する議論をしていくことは不可能だ。今回の会長選挙の公約で申し上げたとおり、日歯に「国民会議」を立ち上げる。すでに社会的なオピニオンリーダーたちをピックアップしており、これから一人一人と交渉していく作業に入る。7月には第1回の会議を開催する見込みだ。

一方で、歯科医師が考える歯科医療のあるべき姿はこうであり、それを実現するためには歯科医療費は本来これくらい必要なのだということを確認を提示しなければならない。そういう言わば“請求書”を出す作業を、これも新たに設置する「歯科医療再生検討会」で行っていく。

「国民会議」と「歯科医療再生検討会」の二つは、歯科医療を再生させるための大きな鍵を握るものであり、私たちは総力を挙げてこれに取り組む。一見遠回りのようだが、こういう基盤をしっかりと作らない限り、その上にどんな建物を建ててもだめだと認識しているからだ。皆様の理解と支援をお願いしたい。

レセプトオンライン義務化については、交渉の場が厚生労働省から政治の世界へと移ってきている。規制改革会議等の誤った認識を正しながら、今後も粘り強く義務化撤廃に向けた運動を展開していく。新型インフルエンザについては14日に三師会で厚生労働省に出向き、いくつかの要望を出してきたところだ。強毒性に変異した場合のことも含めしっかりとした体制を作っていく。この二つの問題は日歯としての危機管理と捉えており、平常時の精神を鍛えながら非常時に対応するという考え方に則って臨むつもりである。

東海信越地区役員連絡協議会特集

第1分科会：時局・会務

日歯：大久保会長、宮村副会長 他
三重県歯：峰会長、芝田専務理事、中藤監事、
宮田監事

日歯大久保会長からの「TOOTH FAIRY」プロジェクトについての報告の後、新潟県歯から提起された未入会対策についての協議に多くの時間が割かれた。診療報酬改定から歯科医師法、さらには新聞報道の問題へと議論は展開。究極的には会員としてのプライドを持てる会、会員であることがステイタスになる会にならなければいけないという決意を共有するに至った。

残されたわずかな時間は、大久保会長が提示した日歯「国民会議」「歯科医療再生検討会」についての詳細な説明に費やされた。今後の展開を期待して見守っていききたいところである。

第2分科会：厚生・福祉共済

日歯：日高常務理事
三重県歯：橋本副会長

公益法人制度改革を控えて、歯科医師会の福祉共済事業の今後についての協議が行われた。

まず日歯日高常務理事から現状報告と今後の展望についての説明があり、その後、各県での対応状況が報告された。多数の会員を抱える愛知県歯では共済の分割等も検討中とのこと。

公益法人か一般法人かという大きな選択肢については日歯で慎重に検討中であり、各県歯ともその動向を注視しているというのが共通したスタンスである。この問題については時々刻々状況が変化しているため、地区担当者間での連絡網を改めて整えることで合意している。

分科会

第3分科会：社会（医療）保険

日歯：渡辺常務理事、堀理事
三重県歯：田所副会長、羽根常務理事、小林理事、
辻(孝)理事、大杉理事

日歯渡辺常務理事から平成22年度診療報酬改定への対応についての講演が行われ、20年度改定の総括や残された課題等についての報告と、次期改定へ向けた対策の進捗状況等が示された。前回のプラス改定からさらなる上積みを図るべく緻密な検討作業が進められていることは心強い。

協議事項では歯科疾患管理料の問題点や休日・時間外加算の審査基準、地方厚生局との対応等が協議された。日歯の地区割りは地方厚生局の区割りとは一致していないが、それを踏まえた連絡網の整備や、より広範囲での協議会開催の検討も必要になりそうだ。

第4分科会：学術

日歯：江里口常務理事
三重県歯：辻(哲)理事

日歯江里口常務理事からは、日歯生涯研修制度E-systemの活用状況や、日歯雑誌のWEB上でのカラー配信等についての報告があった。

インプラントに代表される最新歯科医療に対する県歯学会の姿勢についての協議では、日歯生涯研修セミナーのスタンスと同様に、慎重さを残しながらも積極的に取り組んでいくという方向性である程度の一致をみた。

その他E-systemの活用向上のための地域での工夫や、各県での学会開催状況の報告、卒後の歯科医師臨床研修制度に関わる愛知県歯での取組み等についての報告も行われている。

東海信越地区役員連絡協議会特集

第5分科会：地域保健・地域医療・介護関連

日歯：池主常務理事

三重県歯：中井常務理事、杉原理事、武山理事

日歯池主常務理事に加え、日本学校歯科医会の中田会長、柘植副会長からも挨拶を受けた後、様々な議題について協議された。

懸案になっている「歯の健康力推進歯科医師養成講習会」については、在宅診療の設備整備事業との連動がまだ不十分で各県とも苦慮しているようであるが、一つ一つ壁を乗り越えていくことが必要である。また学校健診時の衛生管理について、各県での最新の対応状況について報告された。これも時代の要請を受けて取り組むべき課題である。

その他、協議事項は非常に多岐にわたっており、年度内に再度分科会を開催する予定。

第6分科会：広報

日歯：浦田理事

三重県歯：熊谷理事

前半は日歯浦田理事からの報告。日歯メルマガ購読者は現在約7,000名（10%を超える程度。これに対し三重県歯メルマガは現在会員の約半数に配信している）。対外広報としては年6回のシンポジウムが企画されている他、「よ坊さん」のTV向けリニューアルも検討中とのこと。

後半は対会員広報における紙媒体とIT関連媒体の住み分けやマスコミを利用した対外広報についての協議、報告が行われた。前者については各県とも公平性を担保しながらの工夫が、後者については費用対効果を配慮しながらの様々な試みが行われている。

分科会

第7分科会：医療管理・税

日歯：中尾常務理事

三重県歯：齋藤常務理事、林理事

新型インフルエンザ対策に忙殺されている日歯中尾常務理事の挨拶を受けた後、協議に入った。

協議題の一つは共通した課題である歯科衛生士不足への対応。インターンシップや近鉄電車内ポスター等の三重県歯の様々な取組みは他県の興味を引いたようである。医院経営における会員のモチベーション向上という課題も取り上げられたが、時間不足のため継続協議になっている。

従来から東海地区では資料共有と情報交換のためにメーリングリストを活用しているが、地区拡大に対応して信越も含めた再整備を行うことも合意された。

第8分科会：情報調査

日歯：稲垣常務理事

三重県歯：太田常務理事、桑名理事

まず、日歯稲垣常務理事からの挨拶と報告。日歯と各都道府県歯の調査・情報で同種のものが多くあり、今期2年のうちに全国の意見を集約したうえで、情報の一元管理や調査データの共有のためのシステム構築を目指すとのこと。

県歯レベルでの情報電子化に関する協議では、地域による温度差が伺われた。三重県歯からは会員個人へのメールアドレス配布の進捗状況等、積極的に取り組んでいることを報告した。また「残存歯数が多い高齢者ほど医療費が少ない」という長野県歯の調査結果も話題になった。岐阜県歯も同様の調査を検討中とのこと。

5月 理事会 報告

平成21年5月10日（日）
三重県歯科医師会館

新型インフルエンザに対応 東海信越地区役員連絡協議会等について協議

会長挨拶

4月30日に行われた総会・代議員会等は新執行部の御披露目に留まったが、今月からは理事会も本格的なものになる。すでに変革の芽は出てきて

いるが、複雑な時代に対応するため臨時委員会を含めた事業展開をしていく。気を引き締めて2年間頑張って戴きたい。

報告事項

1. 会長報告

新型インフルエンザについては、連休中に海外からの帰国者に感染者が出たとの報道があった。今回の新型インフルエンザは弱毒性のようだが、今後変異する可能性も含め、感染者が私たちの歯科診療所を受診した場合の対応等について具体的に検討していく必要がある。

4月からは病院と調剤でのレセプトオンライン化義務化がスタートしたが省令改正が行われた。歯科レセ電も動きは鈍く、全国でも確認試験が数例行われた程度のような。夏頃には県内でも具体的な動きが出ると思うが、社会保障委員会を中心にした臨時委員会で適切に対応してほしい。

2. 一般会務報告

- ・ 無料職業紹介事業報告（累計）：求職9件、求人98件、紹介2件、まとまったもの1件
- ・ 県歯ホームページアクセス集計：6,731件

（前月は3,635件）

- ・ 5月、6月行事予定
- ・ 平成20年度会計監査結果

3. 各委員会事業報告

■社会保障部門

[社会保障]

- ・ 第1回社会保障委員会結果報告（4/16）
- ・ 第1回支部社会保障担当者連絡協議会結果報告（4/23）

税務調査アンケートを実地したい。（承認）

- ・ AED点検啓発リーフレット「AEDの点検をしていますか？」送付
- ・ 歯科助手講習会の予定（5/21、5/31）
- ・ 新型インフルエンザへの対応について：早急に会員向けポスターを作成する。

◆会員事業部門

[医療管理]

- ・ 歯科相談3件
- ・ 税務調査アンケートについて：今年も税務調査を受けられた方に回答を戴き、東海4県で統計処理し税務指導者協議会で役立てたいので、

[学術]

- ・ 平成20・21年度日歯生涯研修事業第2期集計結果報告：都道府県別参加率1位（92.9%）都道府県別平均取得単位数23位（25.6単位）
- ・ 平成21年度県歯学術研修会開催テーマの選考について協議。

[福祉厚生]

- ・ 第1回福祉厚生委員会報告(4/16)
- ・ 互助会第1部の支給について承認。

●地域保健部門

[公衆衛生]

- ・ 第1回公衆衛生委員会報告(4/16)
- ・ 三重県・三重県教育委員会・三重県歯科医師会公衆衛生各事業打合せ会報告(4/23)
- ・ 第1回公衆衛生委員・支部公衆衛生担当者合同連絡協議会報告(4/23)
- ・ 第1回三重県・三重県歯科医師会・三重県歯科衛生士会公衆衛生担当者合同連絡協議会報告(4/23)
- ・ 平成21年度8020運動推進特別事業、歯の健康力推進歯科医師等養成講習会について協議。

[障害者治療]

- ・ 第1回障害者委員会結果報告(4/16)
- ・ 障害者歯科センターの21年4月分診療実績報告。
- ・ ヒヤリハット事例についての報告。

▲情報処理部門

[広報編集]

- ・ 第1回情報処理部門合同委員会報告(4/16)
- ・ 日歯広報「会員モニター」の推薦について
- ・ 会員役員名簿作成の進捗状況について
- ・ 5/14 県歯広報編集委員及び支部広報編集担当者合同連絡協議会(中日新聞三重総局・支部次長講演あり)開催予定。
- ・ 中日新聞「歯のオアシス・Part2」掲載：4/25「初期虫歯」・5/10「バイオフィルム」

[企画調査]

- ・ 第1回情報処理部門合同委員会報告(4/16)
- ・ 平成21年度最新歯科医療実態調査検討委員会を6/18に開催予定。各部門から参加。

★臨時委員会

[機構改革臨時委員会]

- ・ 委員の選出について報告。6/18第1回委員会開催予定。

[レセプト電算化・オンライン化対策臨時委員会]

- ・ 5/28小委員会開催予定。



承認事項

- ・ 会員数：一般696名、勤務27名、終身126名、特別3名、法人5、合計857名。
- ・ 新入会員〔津支部〕中川俊幸先生(承認)

協議事項

1. 東海信越災害共済解散分配金の取扱いについて
2. 東海信越地区歯科医師会役員連絡協議会等について(5/16)
3. 三重県歯科医師協同組合取扱いの「三重県歯科医師会グループ保険」新規加入者を募る。

6月 理事会 報告

平成21年6月4日（木）
三重県歯科医師会館

3つの臨時委員会が始動 支部長会、地区別講習会について協議

会長挨拶

4月から日本歯科医師会の理事会に出席するようになり、かなり様子が分かってきた。日歯理事会は報告事項が膨大でなかなか議論をする時間は

ないが、その分、各セクションのオーソリティを揃えた委員会活動は充実している。三重県歯もこれに負けずに頑張っていきたい。

報告事項

1. 会長報告

5月後半は日歯関連の事業が続いた。20日に新たに立ち上げられたスポーツ歯科検討臨時委員会、22日には今年度最初の学術委員会、27日は日歯理事会があり、翌28日が日歯臨時代議員会。臨時代議員会後に開かれた役員披露パーティーは、総選挙も近いせいとか多くの国会議員、総理経験者等が来賓として出席、大変な盛況だった。

29日には午前9時半から午後5時まで、生涯研修のDVDの収録に立ち会った。九州歯科大学補綴科小谷野教授と東京歯科大学口腔外科高森先生がそれぞれ2時間近く講義されたが、高名な先生が相手にも関わらず日歯学術委員は細部にわたって厳しい注文を付けており、なかなか頼もしい印象を受けた。

2. 一般会務報告

- 無料職業紹介事業報告（累計）：求職4件、求人65件、紹介1件、まとまったもの0件
- 6月、7月行事予定
- 団体定期保険（グループ保険）の中途募集結果報告：加入率38%になり目標を達成
- 所得保障保険の更改について（エムディ）
- 特別委員会委員の決定：裁定審議会委員（7名）・選挙管理委員会委員（11名）・議事規則検討特別委員会委員（7名）
- 第1回日歯税務委員会報告（5/23）
今期より日歯税務委員になった齋藤常務理事からの報告。

• 三重県警察医会理事会報告（5/31）

三重県警察医会総会特別講演講師に歯科医師でもある東邦大学客員教授医学部法医学講座高橋雅典先生を招聘する。演題「法医学および捜査における個人識別」。



3. 各委員会事業報告（全部門より東海信越役員連絡協議会分科会の報告）

■社会保障部門

[社会保障]

- ・ 新規集団指導（5/28）の報告
- ・ 社保通知No. 1 送付（国民年金事業等の運営の改善のための国民年金法等の一部を改正する法律等の施行について）

◆会員事業部門

[医療管理]

- ・ 歯科相談 4 件
- ・ 救急医療情報センター評議員会報告（5/14）
- ・ 歯科助手講習会（5/21・5/31、90名認定）
- ・ 職業説明会事前打合せ報告（6/4）
- ・ マニフェスト交付状況報告
- ・ 近鉄広告ポスター掲出写真（6/1～14）
- ・ 12/5 医療管理学会についての協議及び承認。

[学 術]

- ・ 第 1 回学術委員会報告（5/28）
- ・ 平成22年度日本歯科医学会・学会開催、平成21年度県歯学術研修会開催テーマ並びに日程、講師推薦についての協議。

[福祉厚生]

- ・ 互助会第 1 部の支給について承認。

●地域保健部門

[公衆衛生]

- ・ 第 1 回三重県歯科保健大会実行委員会（5/21）
- ・ 三重県学校保健会理事会、評議員会（6/2）
- ・ 児童相談所一時保護所入所者への歯科健診・歯科保健指導打合せ会（5/28）

- ・ 地域障がい児(者)歯科ネットワーク事業打合せ（6/4）

- ・ 歯の健康力推進歯科医師等養成講習会募集結果、地域障がい児(者)歯科ネットワーク運営協議会(仮称)設立準備会の設置等についての協議及び承認。

[障害者治療]

- ・ 平成21年度障害者歯科研修会（8/30予定）
- ・ 障害者歯科センター 5 月分診療実績報告

▲情報処理部門

[広報編集]

- ・ 第 1 回広報編集委員会、県歯広報編集委員及び支部広報編集担当者合同連絡協議会（5/14）
- ・ 衛生週間・歯科保健大会報道回り（5/28）
- ・ 三重県歯科医師会役員会員名簿作成の進捗状況
- ・ ホームページ 5 月分アクセス集計（6,439件）
- ・ 中日新聞「歯のオアシス・Part 2」掲載：5/10「バイオフィルム」・5/26「酸蝕歯」
- ・ 三重テレビ『歯チカラ』について協議。

[企画調査]

- ・ 平成21年度最新歯科医療実態調査進捗状況

★臨時委員会

[機構改革委員会]

- ・ 第 1 回委員会開催予定（6/18）

[レセプト電算化・オンライン化対策委員会]

- ・ レセプト電算化・オンライン化対策小委員会（5/28）について報告

[コ・デンタルスタッフに関する協議会]

- ・ コ・デンタルスタッフに関する協議会開催予定（6/25）

承認事項

- ・ 会員数：一般693名、勤務23名、終身134名、特別 3 名、法人 5、合計858名。
- ・ 新入会員〔鈴鹿支部〕田中一生先生（承認）
- ・ 退会会員〔津支部〕吉田 弘先生（承認）

協議事項

1. 支部長会の招集並びに附議事項について
2. 平成21年度地区別講習会について
3. 新型インフルエンザ対策について
4. 第三銀行の預金の取扱いについて
5. 協同組合ホームページの作成について

6月 支部長会 報告

平成21年6月18日（木）
三重県歯科医師会館

地区別講習会の意義見直し 今後の在り方について協議



今期2回目となる支部長会が開催された。座長を務める橋本副会長の進行の下、会長からの挨拶と報告に続いて、4月以降本格的に稼働し始めた各委員会から様々な報告が行われた。また、例年秋以降に開催されている地区別講習会については、抜本的な見直しへ向けた協議が行われ、支部長から様々な意見が示された。

会長挨拶

今年度から役員任期が2年になった。事業日程を組んでいると、これはとても短いという実感があり、各部門の事業も早め早めに進んでいる。支部でも新体制が落ち着いてきた頃に任期が終わってしまうということにならないよう、これまでとは違う意識で2年という時間を巧く使って戴きたい。

前回、県歯会長と日歯理事の兼務についてご心配戴いた。先月も5月半ばから約10日間は東京等

に出掛けており、想像していたとおり診療に従事する時間はほとんど取れなくなっている。しかし、今はパソコン一つあればどこでも県歯の事業執行状況は把握できるし必要な指示も出せる。会長職には支障が出ていないのでご安心戴きたい。

逆に、いかにIT化が進んでも伝えきれない日歯中枢での「温度のある会話」に接することは、やはり大きな意義がある。この経験を様々な機会をとらえて会員に伝えていきたいと考えている。

報告事項

1. 会長報告

(1) 中央情勢等について

5月28日(木)に第163回日歯臨時代議員会が開催され、私は日歯理事として、三重県歯からはベテランの齋藤代議員と新人の芝田代議員が出席した。ただし、今回は議長等の選出が主であり、9月の代議員会が本格的なものになる。

代議員会後の役員披露の席には、多数の国会議員が出席しており、前回参議院選挙以降の政界が歯科界に向ける意識の高まりを実感した。

(2) 県歯機構改革について

18日に第1回機構改革臨時委員会を開催する。公益法人制度改革及び障害者センターに関する諮問を行い、これに答申して戴く。

(3) 地域医療再生臨時特例交付金について

平成21年度補正予算に「地域医療再生臨時特例交付金」が盛り込まれた。その趣旨に沿って三重県行政の施策と協調しつつ、歯科が果たすべき役割に活かされるよう、適切に対応していきたい。

2. 一般会務報告（芝田専務理事）

- (1) 会員数（平成21年4月1日～6月15日）
入会2名、退会2名、会員数857名。
- (2) 県歯会特別委員会委員の決定について
裁定審議委員7名、選挙管理委員及び予備委

員各11名、議事運営委員7名の報告。

- (3) 公益法人制度改革に関する三師会役員向け講習会の開催について
- (4) 日本学校歯科医会について

3. 各委員会事業報告

〔社会保障〕羽根常務理事

- 各診療報酬審査会委員の就任について
6月から新任期となる社保支払基金・国保連合会審査委員についての報告。任期は2年。
- 県歯社会保障委員会事業について
各支部社保担当との連携体制について報告。

〔公衆衛生〕中井常務理事

- 平成21年度8020運動事業について
8月23日(日)の学校歯科保健研修会（フッ化物洗口指導者研修会併催）開催について報告。
講師：朝日大学教授・磯崎篤紀先生、日本学校歯科医会副会長・柘植紳平先生
- 地域障がい児(者)歯科ネットワーク設立準備委員会について
- 平成21年度フッ化物洗口推進事業について
- 平成21年度口腔ケア推進支援事業について
- 平成21年度地域8020運動推進協議会について（日程調整含む）

行政に対して地域歯科保健の課題を挙げ、事業を進めていく機会にして戴きたい。

- 第37回産業歯科医研修会（平成21年度）実施要領について
- 「発達障害のある人の診療ハンドブック」配布について

〔障害者治療〕武山理事

- 平成21年度障害者歯科研修会開催について
8月30日(日)に開催。
講師：大阪大学准教授・秋山茂久先生

〔医療管理〕齋藤常務理事

- 新型インフルエンザ対策について
県内での感染者が確認されたのを受けた野呂

知事からの「三重県民の皆さまへの呼びかけ（第3号）」と、日歯「新型インフルエンザ対策行動計画」について報告。

- 産業廃棄物処理について（L-net通信を配信）
- 平成20年度医療ネットみえ運営状況について
救急医療では県内医療機関447件中、歯科は141件参加。医療機能情報への歯科の参加は現在94.8%。不参加の会員にはこれから参加を働き掛けていく。

〔企画調査〕太田常務理事

- 最新歯科医療実態調査について
18日に検討委員会を開催。調査票を作成する。
調査開始は7月中旬の予定。

〔広報編集〕太田常務理事

- 県歯ホームページによる情報伝達について
18日から支部短信をリニューアル公開した。
- 〔レセプト電算化・オンライン化対策〕田所副会長
○7月16日に支部選出委員も含めた全体委員会を開催する。

〔歯科医師国保〕武田理事

- 平成21年度国保組合所得状況報告（調査）について

関連質疑

Q：須川支部長（南紀）

新型インフルエンザ対策について、咳をしていて発熱があり感染の疑いのある患者が、歯痛を訴えて来院した場合はどう対応すべきか。

A：齋藤常務理事

現症として明らかであれば、医科での診断を優先するよう求めても良いだろう。そうした対応は診療拒否とはされないと考えられる。

協議事項

○平成21年度地区別講習会について

峰会長

現在、理事会で地区別講習会の意義を見直す議論が起きている。地区別であれば地区の特性に沿った内容にするべきであり、同じ内容の講習会を「地区別」と称する意味はないという話である。一方、支部長や代議員には執行部の考えを理解して戴きやすいが、一人一人の会員までにはなかなか思いが伝わりきらないという現実もあり、各地区に執行部が出向いて会員から直に意見や要望を伺う機会も必要と考えている。ここで改めて、地区別講習会の意義と今後の在り方についてご意見を戴きたい。

長井支部長（松阪）

会長から直接、時局や中央情勢についての話を聴くことは、会員にとっても大きなメリットがあり、ぜひ続けて戴きたい。

須川支部長（南紀）

南紀支部では地理的な問題もあり、県歯と疎遠になりやすい。できれば会長や執行部の先生に当方に出向いて戴きたい。

峰会長

地区別講習会という形式ではなくても、膝を交えてお話をさせて戴く機会を作ることはできるし、その際に要望に応じて常務理事や理事を伴うことも可能だ。そうした支部回りの方法との並立も含めて考えたい。

浅野支部長（四日市）

支部で開催される社保講習会に絡める形で、

県歯会務等について報告して戴いてもいいのではないか。

鎌谷支部長（津）

私も含めてだが、県歯の地区別講習会について、いわゆる保険医の集団指導と混同した、誤った認識を持っている会員も多いのではないか。

峰会長

県歯の講習会イコール社保講習会という時代もあったが、最近の県歯ホームページのアクセス等を見ていると、必ずしも社保情報だけに集中しているわけではない。診療報酬をどう請求するか以前の問題として知っておくべきこと、考えていくべきことがたくさんあるという共通認識が浸透してきたという印象も持っている。一方で地域ごとに最も関心が高いテーマはそれぞれにあるだろうから、そうした意向を汲み取ることも必要だろう。

渡部支部長（鈴鹿）

従来の地区別講習会とは別に、支部回りもするということか。

峰会長

会員に直接伝えるべき課題等があった時には県歯主催の講習会が必要になる。これまではそれを地区別講習会という枠を借りて行ってきたが、地区別と呼ぶのなら異なった役割があるのではないかと考えているということだ。

今日戴いた意見を踏まえて、次回の支部長会に、今後の地区別講習会の在り方についての叩き台を示したい。

支部長よりの提案事項

○母と子のよい歯のコンクールについて

矢谷支部長（伊賀）

母親のいない子どもは、コンクールに参加できない。何らかの対応が取れないのか。

中井常務理事

母子保健法に基づく応募要領に「母と子」と

いう文言が明示されているため、厚生労働省と日歯が主催する中央審査まで対応を求めるのは難しい。一方で、すでに「親と子のよい歯のコンクール」という形を採っている支部もあり、そうした配慮は推奨したい。また県歯としても、今後いろいろなケースへの対応を考えていく。

（広報編集委員・森 誠 記）

歯科保健大会 実行委員会

第1回歯科保健大会実行委員会

平成21年5月21日（木）

三重県歯科医師会館

11月8日（日）桑名市開催へ テーマは「幸せ育む健康家族」

今年も三重県歯科保健大会開催へ向けての準備が始まった。大会は11月8日（日）、いい歯の日に桑名市民会館で開催予定。第1回実行委員会には、峰会長・橋本副会長・中井常務理事・杉原理事・辻（哲）理事・熊谷理事ら県歯理事者と行政関係者が出席し、委員長には橋本副会長が選出された。続いて今年度のテーマについて協議を行い、昨年と同じ「幸せ育む健康家族」に決定した。



レセプト電算化・ オンライン化対策 臨時委員会

第1回レセプト電算化・オンライン化対策臨時小委員会

平成21年5月28日（木）

三重県歯科医師会館

全会員のサポート目指して活動開始 7月全体委員会開催へ向けて協議

今年度新たに設置されたレセプト電算化・オンライン化対策臨時委員会の小委員会が開催された。23年4月に迫るレセプトオンライン請求義務化に向けて、田所副会長・羽根常務理事を始め社保・会員事業・情報処理の各理事者、常任委員等が出席し、現状分析と今後の活動についての協議を行った。7月には支部選出委員も含めた全体委員会を開催し、三重県歯全会員の診療報酬請求が円滑に行われるよう全力でサポートしていく方針だ。



機構改革 臨時委員会

第1回機構改革臨時委員会

平成21年6月18日（木）

三重県歯科医師会館

会長の諮問に基づき 公益法人制度改革への対応等について協議開始

今期事業の核の一つである機構改革臨時委員会が初会合を開き、峰会長による委員会設置の経緯説明後、委員長に水谷忠司委員（桑員）、副委員長に吉田昌夫委員（松阪）が選出された。

会長からの諮問内容は「公益法人制度改革への対応と障害者歯科センターについて」。任期2年のうちに報告書が提出されることになる。

委員は8月2日（日）、歯科医師会館にて公益法人制度改革に関する三師会役員を対象とした講習会も受講する予定だ。



コ・デンタル スタッフに 関する協議会

第1回コ・デンタルスタッフに関する協議会

平成21年6月25日（木）

三重県歯科医師会館

歯科衛生士不足解消へ向けて 関係者が一堂に会して協議

今年度新たに立ち上げられた「コ・デンタルスタッフに関する協議会」の初会合が行われた。県行政からは福井医療政策室長と芝田主幹、県教育委員会からは高校教育室進路指導入試グループ・吉田主幹、三重県歯科衛生士会からは笹間副会長、さらに県下3つの養成校の代表者も出席してそれぞれの立場からの意見交換を行った。

冒頭、齋藤常務理事から三重県の歯科衛生士の状況と三重県歯科医師会が行っている歯科衛生士確保のための事業に関する報告を行い、その後協議に。養成数確保のための施策については、第一

に職業の認知度を上げることが挙げられ、中学生を対象とした職場体験も有効との意見があった。その他、給与を含めた労働条件の改善、業務範囲の明確化（歯科助手との区別）等について、雇用者（歯科医師）側への厳しい注文を聞くこともできた。

今後、7月実施予定の三重県歯「最新歯科医療実態調査」の速報値を参考に、コ・デンタルに関する実態を詳細に把握し、具体的な施策を立案していきたい。

▲支部広報 編集担当者 連絡協議会

Information Processing Section

第1回支部広報編集担当者連絡協議会

平成21年5月14日（木）

三重県歯科医師会館

支部短信リニューアルへ 「分かりやすい原稿の書き方」講習会も併催

従来の支部モニター連絡協議会を一新、県下11支部の支部広報編集担当者を招集しての連絡協議会が開催された。県歯広報としては久しぶりに講習会を企画。「歯のオアシス」も担当している中日新聞三重総局の渡部 圭次長から「分かりやすい原稿の書き方」と題したレクチャーを受けた。

冒頭、原稿用紙と鉛筆が配られ皆で作文を書くことに。小・中学生に戻った気分戸惑いながらも、その後に示されたいろいろなアドバイスからは「読む人のことを考える」のが何よりも大切で

あることを、今さらながら再認識させられた。

後半は県歯からホームページ「支部短信」のリニューアルについて説明。さらに本誌巻頭に掲載されている「支部長紹介&歯の衛生週間事業」特集についての原稿依頼と趣旨説明が行われた。

県歯広報編集と支部担当者が連携して事業を実施する機会は少ないが、対会員・対県民へ積極的に語りかけることが求められている時代であればこそ、協調して歯科医師会広報のレベルアップを図っていきたい。

▲最新歯科 医療実態調 査検討委員 会

Information Processing Section

最新歯科医療実態調査検討委員会

平成21年6月18日（木）

三重県歯科医師会館

事業計画に資する有効な調査と 回収率のさらなる向上を目指して

企画調査委員会を中心に、会員事業部門の齋藤 常務理事や社会保障部門の辻(孝)理事も参加して最新歯科医療実態調査の調査票について協議。

今年度は例年より時期を前倒して、7月には調査票を会員へ発送する予定。三重県歯科医師会事業計画の根拠となる調査だけに、その内容の充実とともにストレスなく回答できる設問の設定が課題。回収率100%を目指して、この後の企画調査委員会も含め3時間以上、議論は続いた。



歯科助手 講習会

Member Business Section

平成21年度歯科助手講習会

4月19日（日）・4月26日（日）

5月21日（木）・5月31日（日）

三重県歯科医師会館

90名が4日間のコースを受講 日本歯科医師会認定の歯科助手資格を取得

平成21年度歯科助手講習会が上記の日程で開催された。本事業は日本歯科医師会からの委託事業として行われており、原則として会員診療所に勤務する歯科助手を対象に毎年実施しているものである。

全日程修了者には三重県歯科医師会より履修証書が、また日本歯科医師会より歯科助手資格認定証が交付される。今年度は近年になく多くの参加者を得て行われた。

【第1日目】

歯科助手講習会スタートに当たっての齋藤常務理事挨拶の後、トップバッターの太田常務理事が、受付が知っておくべき保険診療と医療事務の基本について解説。質疑応答では請求事務についての高度な質問も飛び出して講師が戸惑う一幕も。

午後は「歯科助手の心得と一般教養・接遇向上セミナー」と題した目賀田美奈子氏（オフィスブレイズ代表）の講演と接遇実習。挨拶やお辞儀の仕方から言葉遣い・相手との距離・目線の方向等、社会人として最低限知らなければならない事柄を実習を交えて分かりやすく解説。明日からすぐに役立つ有意義な内容だった。



【第2日目】

午前中は齋藤常務理事による「歯学概論と消毒法」の講義。歯科医院の現状とそれを取り巻く環境の話題に始まり、感染予防のための消毒法や放射線防御についての説明、さらには最近話題になっているモニターペーシェント対策として、三重県歯科医師会に寄せられる苦情の実例や対処法等について詳しく解説する等、時代を反映して例年以上に幅広い内容となった。

午後は、医療管理担当の林理事が印象材・石膏・充填材料等の取扱いの他、医療監視で重視される劇薬の取扱いや、歯科治療時の救急処置についての講義を行った。



【第3日目】

いよいよ実習編。日常臨床でよく用いる材料の基本的な取扱いを、実習を中心に学ぶカリキュラム。講師陣も齋藤常務理事・林理事に県歯医療管理委員や(株)GCのスタッフが加わっての総力戦。受講生は「アルジネート印象&石膏の取扱い」「シリコン印象」「セメント錬和」「血圧測定&救急処置」の4グループに分かれて、テーマ毎に1時間ずつの実習を行った。



【第4日目】

最終日は歯科臨床の各論についてのスライドや動画を用いた講義。午前は補綴処置(林理事)・口腔外科処置(久保委員)・保存治療(山本委員)、午後は歯周病治療(荒木田委員)・矯正治療(橋爪委員)というラインナップ。薄暗い中での講義が続き、受講者は眠気をこらえながらの一日だったようだ。

最後に齋藤常務理事から三重県歯科医師会会長名の認定書が代表者1名に授与され、全ての日程を終了。今年度は90名の受講者が全日程を修了、日本歯科医師会の認定を受けることとなった。



受講者体験記♪

津市・小野好美さん

講習会は、一回一回が興味深く受講できる内容でしたが、特に印象に残ったのは目賀田先生の「患者満足度向上セミナー」でした。講習当初は会場がとても静かでしたが、上手なコミュニケーションの方法を学ぶという内容だったので、参加者同士が会話をすることで場がとても和み、おかげで2日目からの講習会も良い雰囲気になったと思います。

目賀田先生は「あなたの印象ひとつで医院が良くも悪くも見えます」とおっしゃいました。その言葉を聞いた時、ドキッとしたと同時に身が引き締まる思いでした。歯科医院を訪れる患者さんは何かしらの不安を持っているので、最初に顔を合わせる自分の表情や言葉で少しでもリラックスして治療に向かえるように工夫していきたいと思います。

津市・眞田浩子さん

2年ほど前から診療所の仕事を手伝っていますが、歯科の知識がほとんどない私にとってこの歯科助手講習会はとても勉強になりました。

主に受付の仕事をしているので、患者さんとの対応と保険関係の事務処理に一番気を使います。ですから第1日目「保険診療と医療事務の基本」、「患者満足度向上セミナー」はとても興味深く聞くことができ、日頃の業務の確認になりました。第2日目「歯学概論」「器具・材料・薬品」の講義もとても分かりやすかったです。第3日目の実習は日常やっていない内容でしたので大変でした。セメントは粉が飛び散るし、印象は途中で固まってパニックになるし…。できればもう1回くらい実習の日を作って戴きたかったです。

今回学んだことをもとに、患者さんの立場に立って優しく接していきたいと思います。

歯科衛生士 職業説明会

Member Business Section

平成21年度歯科衛生士職業説明会

平成21年6月11日（木）

三重県歯科医師会館

新たな人材を求めて 歯科衛生士の魅力を熱くアピール

従来の学校説明会から歯科衛生士職業説明会へ衣替えして2年目。来春からの3年制移行を控え、さらなる志願者の減少が懸念される中、少しでも歯科衛生士の認知度を上げて歯科衛生士不足が続く現状を打破することが求められている。今年度は県内各高校の進路指導担当教諭や3年生の学年主任に加えて、新たに短大等の就職担当者にも参加を呼び掛け、合わせて15校の参加を得て開催された。

説明会では齋藤常務理事・林理事を始め、ユマニテク医療専門学校・三重県立公衆衛生学院・伊勢保健衛生専門学校の県内3養成校担当者や、各専門学校を卒業して現在活躍中の現役歯科衛生士3名が壇上に立ち、歯科衛生士という職業の魅力について熱く訴えた。

齋藤常務理事よりの概要説明では、歯科衛生士を取り巻く環境について、志願者や入学者の減少に伴う定員割れ問題という現状を伝える一方、100%を誇る就職率の高さをアピール。さらに今後活躍が期待できる介護予防や特定保健指導で果たす役割等も示した。林理事からは歯科医院での歯科衛生士業務の実際を紹介。歯科衛生士が中心になって患者の長期的な口腔管理を継続している症例を示すとともに、日本歯科医師会作成の歯科衛生士PR用DVDも上映した。

職業説明会の目玉は現役歯科衛生士によるプレゼンテーション。それぞれが歯科衛生士としての誇りを胸に説得力のある言葉でそのやりがいを伝えた。津市開業医勤務の歯科衛生士（公衆衛生学院卒）は、歯周治療に当たって歯科衛生士が果たしている大きな役割について説明。志摩市開業医勤務の歯科衛生士（四日市歯科衛生士学校＝現ユマニテク医療専門学校卒）は、常勤・パート等勤



務形態を変えながら10年以上同じ歯科医院に勤めてきた経験を披露。結婚や子育て等のライフサイクルの変化に合わせて働き続けることができる、女性にとって魅力的な職業であると語った。最後に七栗サナトリウム勤務の歯科衛生士（伊勢保健衛生専門学校卒）が、現在勤務している病院施設での入院患者への口腔ケアや、他業種とのカンファレンス等での歯科衛生士の役割について具体的に解説した。

各専門学校の担当者から学校の特徴と募集要項について説明を行った後、各担当者と個別相談を行い、やる気にあふれた人材を歯科界へ送り出してもらえよう改めて働き掛けた。

FM三重 cube café 誌上再録

6月4日(木)、FM三重・cube café「子育て応援！ママリポート」に芝田専務理事が出演しました。この日は「虫歯の日」、FM三重クルーが三重県歯会館を訪れての生中継でした。リポーターの田上典子さん自身が昨年度四日市市「母と子のよい歯のコンクール」の入選者！ 芝田専務理事からはリスナーの「ママ」たちに様々な虫歯予防のアドバイスをお伝えしました。

田上：「母と子のよい歯のコンクール」は今年で58回目を迎えられたそうですね。私と子供が昨年入選するとは思っていませんでした。

芝田：おめでとうございます。これを機会に歯の大切さを感じて戴いたことは私たちにとっても嬉しいことです。この全国大会で19年度、20年度と三重県代表は最優秀の6組に入選していますよ。

田上：三重県にとっても誇らしいことですよね。やはり、いつまでも自分の歯で食事を楽しみたいのです。

芝田：そうですね。そのためにも1本でも多くの自分の歯を残したいものです。国民一人一人が食べることを意味を理解し、自立した健康的な食生活を営む力を育むこと、つまり食育ですが、私たち歯科の役割として「歯の役目を知ってもらう」「よく噛むことの大切さを知ってもらう」「食事をとるための健康な歯を作り、保ってもらう」「各世代の食育に対して歯科の関わりを広める」等を考えています。

田上：なるほど。

芝田：8020運動も今年で21年目を迎えました。人間は20本の歯があればほとんどのものをおいしく食べることができると言われています。そこで80歳になっても20本の歯を保とうということを目標に掲げているんです。

田上：歯のケアというと、まずは歯磨きをしっかりするということが真っ先に思い浮かびますが。

芝田：歯磨きそのものに加えて歯磨き剤選びにも気を配りましょう。フッ化物配合のものがいいですね。シュガーレスガム等を噛むことで唾液の分泌を促すことも効果的です。最近ではキシリトール配合のもの等、虫歯予防や歯を強くするものも



ありますので積極的に利用することをお勧めします。かかりつけの歯科医院で歯磨き指導や、歯面清掃及びフッ素塗布等のプロフェッショナルケアを受けることも大切です。

田上：他にはどんなことに気をつけたらいいでしょうか。

芝田：まず急いで食べない、食べさせないこと。田上さんも、日頃お子さんに「早く食べなさい」なんて言っていないですか（笑）。食事中に頻繁に水分を取り過ぎることも、食べ物を噛まずに流し込むことに繋がるので注意が必要です。噛もうという意識がないとなかなか回数を噛めません。噛み応えは食べ物によって違います。ゆっくり、その違いも感じながら、味わって食べることを発育期に習慣づけることが大切です。噛み応えのある食べ物を、1口30回を目安によく噛んで食べましょう。これは過食を防ぐことにもつながりますし、唾液の分泌が良くなって発ガン性物質の毒性を弱めることもできると言われています。また調理法を工夫して下さい。例えばキュウリ等の場合なら、じゃばら切りから乱切りにするだけで噛む回数が25%アップすると言われています。

田上：へえ、ちょっとした工夫ですね。将来子供が歯で悩まないためにも親がしっかりした習慣づけをしてあげることが大切ですね。

小規模企業等共済金の税法上の取扱い

顧問税理士 植村公順

Q：所得税の確定申告で所得控除として小規模企業共済等掛金を全額控除していますが、小規模企業等共済金を受け取った場合の税金はどのようになるのでしょうか。

A 1：小規模企業共済制度の概要

ご承知のとおり小規模企業共済は、個人事業主や会社等の役員が中小機構に毎月定額の掛金を支払い、事業の廃業、老齢、死亡などのときに、共済金等の給付を受ける国の制度です。

なお、個人事業主の専従者は平成6年4月以後新規加入できませんが、平成6年3月までに加入していた専従者は継続して毎月定額の掛金を支払い、共済金等の給付を受けることができます。

契約者である個人事業主等が次に該当することとなった場合は、契約者または遺族の方が中小機構の業務を取り扱っている委託団体及び金融機関の窓口を通して中小機構に対して共済金・解約手当金の請求をすることになります。

- ① 事業を廃止したとき、または死亡したとき（共済金A）
- ② 満65歳以上で15年以上掛金を納付している場合の老齢給付（共済金B）
- ③ 配偶者や子供に事業の全部を譲渡した場合、または個人事業を現物出資により法人を設立し、その法人の役員とならなかった場合（準共済金）
- ④ 契約者からの任意解約、12か月分以上の掛金の滞納による場合の中小機構解約、または個人事業を現物出資により法人を設立し、その法人の役員となった場合の解約（解約手当金）

A 2：共済金・解約手当金の税法上の取扱いは次のとおりです。

種 類	税法上の取扱い	税法上の手続き
一括受取共済金（死亡時を除く）	退職所得	共済金等請求書と同時に「退職所得申告書」を提出した場合は、下記(1)の計算による源泉徴収で手続きは終了。「退職所得申告書」を提出しない場合は、共済金の20%を源泉徴収されるため確定申告が必要。
分割受取共済金（死亡時を除く） ※10年と15年の分割がある。	公的年金等の雑所得	受取共済金は一律7.5%源泉徴収のため他の所得と合わせ確定申告が必要。
死亡共済金	相続税	相続財産として申告が必要。
準共済金	退職所得	一括受取共済金と同じ手続き。
65歳以上任意解約手当金	退職所得	一括受取共済金と同じ手続き。
65歳未満任意解約手当金	一時所得	原則として確定申告が必要。
任意解約以外の解約手当金	一時所得	原則として確定申告が必要。

（注）共済金を分割で受け取っていた途中で死亡した場合は、残額が死亡共済金となります。

医 療 管 理

(1) 一括受取共済金の退職所得の所得税の計算は、次のとおりです。

$$(\text{一括受取共済金} - \text{退職所得控除額}) \times 1/2 \times \text{所得税率}$$

退職所得控除額は次のとおりです。

区 分	退職所得控除額
加入期間（勤続年数）20年以下	勤続年数×40万円（80万円未満のときは80万円）
加入期間（勤続年数）20年超	勤続年数×70万円－600万円

（注）加入期間に1年未満の端数がある場合は1年とします。

(2) 分割受取共済金の公的年金等雑所得の所得税の計算は、次のとおりです。

$$[(\text{分割受取共済金} + \text{他の公的年金} - \text{公的年金等控除額}) + \text{他の総合課税所得金額} - \text{所得控除額}] \times \text{所得税率} - \text{源泉徴収税額}$$

※ 分割受取共済金から源泉徴収税額が一律7.5%差し引かれますが、確定申告で還付される場合があります。

(3) 解約手当金の一時所得の所得税の計算は、次のとおりです。

$$[(\text{解約手当金} - \text{特別控除額}50\text{万円}) \times 1/2 + \text{他の総合課税所得金額} - \text{所得控除額}] \times \text{所得税率} - \text{源泉徴収税額}$$

【計算例】 月額50,000円で30年間小規模企業共済掛金を納付している場合、満65歳の老齢給付共済金について、平成21年5月現在の中小機構回答に基づき、一括受取または分割受取の共済金に課税される平成20年分概算所得税額は次のとおりとなります。

一括受取共済金は21,059,000円、分割受取共済金（15年間）は22,740,000円（1年当たり分割受取共済金1,516,000円）で計算します。

①一括受取共済金の退職所得の所得税額

$$(\text{一括受取共済金 } 21,059,000\text{円} - \text{退職所得控除額}15,000,000\text{円}) \times 1/2 \times \text{所得税率} (10\% - 97,500\text{円}) = 205,400\text{円}$$

②15年間分割受取共済金の公的年金等雑所得の所得税額

1年間の収入は分割受取共済金1,516,000円、国民年金792,100円のみ、所得控除は社会保険料控除額300,000円、配偶者控除額380,000円、基礎控除額380,000円という条件で計算します。

(分割受取共済金1,516,000円 + 国民年金792,100円 - 公的年金等控除額1,200,000円) - 所得控除額1,060,000円 × 所得税率5% = 2,400円（分割受取共済金から差し引かれた源泉徴収税額との差額は確定申告で還付されることとなります）15年間で所得税額が36,000円となり、この計算例の場合は分割受取の方法が有利となります。

個人事業主等が生存中に老齢給付共済金を受け取る場合、一括受取と分割受取のいずれの方法が有利かについては、共済金を請求する際に、委託団体の窓口で相談の上、「確定申告書の手引き（公的年金等控除額、所得税の税額表など）」を活用し、所得税を試算して選択してください。

会員事業部門生涯研修コーナー

●今月の生涯研修該当論文

日本歯科医師会雑誌

<VOL.62 No.3 6月号>

研修コード 0801

クリニカル「子供たちを健全な永久歯列に導く」須貝昭弘（神奈川県川崎市開業）

研修コード 0399

サイエンス「咀嚼と生活習慣病－全身の健康への歯科医師の役割－」

橋本和佳（愛知学院大学歯学部冠・橋義歯学講座准教授）

研修コード 0603

クリニカル「エビデンスを考慮したインプラント補綴の基本的事項

－咀嚼機能の回復と維持に生かすために－」

古谷野 潔（九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座咀嚼機能再建学分野教授）

研修コード 0199

FORUM「食を通じたアンチエイジング－開業歯科医としての取り組み（その1）」

山本美智子（石川県金沢市開業）

<VOL.62 No.4 7月号>

研修コード 0199

クリニカル「大規模災害時における歯科保健医療支援活動」田中 彰（日本歯科大学准教授）

研修コード 1001

サイエンス「要介護高齢者に役立つ口腔ケア用品」

角 保徳（国立長寿医療センター病院先端医療部口腔機能再建科医長）

研修コード 0603

クリニカル「これからのインプラント治療の展望

－安全で国民に受け入れられるインプラントの普及を目指して－」赤川安正 久保隆靖

研修コード 0105

座談会「歯科衛生士の業務について」石井拓男 他5名

研修コード 0199

FORUM「食を通じたアンチエイジング－開業歯科医としての取り組み（その2）」

山本美智子（石川県金沢市開業）

委員会便り

広 報 編 集

日 時：平成21年5月14日(木)
午前10時～11時30分
場 所：三重県歯科医師会館3F研修室
協議事項：①『三歯会報』の今後の予定について
②会議取材について

学 術

日 時：平成21年5月28日(木)午前10時～12時
場 所：三重県歯科医師会館3F実習室
協議事項：①今年度のテーマ・講師・日程について
②オンデマンド配信について
③学術委員会からの情報提供について
④日歯セミナー出席確認について
⑤学会開催時の役割分担について

企 画 調 査

日 時：平成21年6月18日(木)午後4時～5時
場 所：三重県歯科医師会館3F研修室
協議事項：①平成21年度最新歯科医療実態調査・
調査票について
②平成21年度最新歯科医療実態調査の
今後のスケジュールについて

社 会 保 障

日 時：平成21年6月23日(火)午後1時～3時
場 所：三重県歯科医師会館2F公衆衛生指導
センター
協議事項：①支部別講習の内容について
②社保・国保審査委員会(歯科) 歯科
医師会連絡協議会の議題について

公 衆 衛 生

日 時：平成21年6月25日(木)午後1時～3時
場 所：三重県歯科医師会館3F情報センター
協議事項：①平成21年度8020運動推進特別事業に
ついて
②小委員会の設置について

障害者歯科センター

5月障害者歯科センター診療状況
診 療 日：7日
診療担当者：常勤1名、非常勤7名(内訳・会員
4名、大学3名)
延 患 者 数：144名
6月障害者歯科センター診療状況
診 療 日：8日
診療担当者：常勤1名、非常勤8名(内訳・会員
5名、大学3名)
延 患 者 数：167名

5 月 ・ 6 月 会 務 日 誌

5. 10 常務理事会、理事会開催
13 日本歯科医師会第1回税務委員会に齋藤
常務理事出席
14 広報編集委員会、支部広報担当者・広報
編集委員合同連絡協議会開催

三重県健康管理事業センター竣工式に峰
会長出席
日本学校歯科医会学校歯科保健担当役員・
事務担当者連絡会に芝田専務理事出席
三重県救急医療情報センター第31回評議

- 員会に齋藤常務理事出席
- 16 東海・信越地区歯科医師会会長・専務理事連絡協議会が岐阜県にて開催され峰会長、芝田専務理事出席
東海・信越地区歯科医師会役員・同国保組合役員・同連盟役員合同連絡協議会が岐阜県にて開催され役員全員出席
- 20 日本歯科医師会スポーツ歯科検討臨時委員会に峰会長出席
- 21 第14回三重県歯科保健大会実行委員会、歯科助手講習会開催
産業保健研修会に芝田専務理事出席
- 22 日本歯科医師会第1回学術委員会に峰会長出席
- 27 日本歯科医師会第3回理事会に峰会長出席
- 28 学術委員会、レセプト電算化・オンライン化対策臨時小委員会、児童相談所一時保護所入所者への歯科健診・歯科保健指導打合せ会開催
第163回日本歯科医師会臨時代議員会に峰会長、芝田専務理事、齋藤常務理事出席
日歯生涯研修ライブラリー講師打合せ会に峰会長出席
- 29 平成21年度日本歯科医師会生涯研修セミナーDVD版収録に峰会長出席
- 31 歯科助手講習会開催
三重県警察医会理事会に橋本副会長、芝田専務理事、齋藤常務理事、武田理事、辻(哲)理事、陣田会員、東会員出席
6. 2 常務理事会開催
三重県学校保健会理事会に橋本副会長、中井常務理事出席
三重県学校保健会評議員会に橋本副会長、杉原理事、中村公衆衛生委員出席
- 4 理事会、顧問会議、地域障がい児(者)歯科ネットワーク事業打合せ会、職業説明会事前打合せ会開催
- 11 職業説明会、三重テレビとの打合せ開催
- 14 日歯生涯研修セミナーが岩手県にて開催され峰会長出席
- 三重県訪問看護ステーション連絡協議会総会に中井常務理事出席
医療連携と病院歯科の現状に関する講演会が岐阜県にて開催され辻(哲)理事出席
- 17 日本歯科医師会第1回会誌編集委員会に峰会長出席
- 18 支部長会、企画調査委員会、機構改革臨時委員会、最新歯科医療実態調査検討委員会、食育推進担当者会議、新審査員オリエンテーション、社保国保審査委員会・歯科医師会連絡協議会事前打合せ会開催
- 三師会幹事会に峰会長、橋本副会長、田所副会長、芝田専務理事出席
- 19 みえ犯罪被害者総合支援センター総会に熊谷理事出席
- 21 日歯生涯研修セミナーが愛知県にて開催され峰会長、辻(哲)理事、山内学術委員、村田学術委員出席
- 23 社会保障委員会、社保国保審査委員会・歯科医師会連絡協議会開催
三重県健康管理事業センター評議員会に峰会長出席
- 24 日本学校歯科医会第75回総会に橋本副会長出席
- 25 公衆衛生委員会、よい歯の母子並びに児童生徒の県審査、第1回病院歯科連絡協議会、コ・デンタルスタッフに関する協議会開催
日本歯科医師会第4回理事会、日本歯科医師会役員勉強会に峰会長出席
- 27 みえ摂食・嚥下リハビリテーション研究会世話人会・学術集会に中井常務理事出席
- 28 日歯生涯研修セミナーが広島県にて開催され峰会長出席
日歯生涯研修セミナーが岐阜県にて開催され齋藤常務理事、辻(哲)理事、前田学術委員出席
- 第16回日本歯科医療福祉学術大会に熊谷理事出席

会員消息のページ

新入会員紹介



たなかかずなり
田中一生先生（6. 4付）
診 鈴鹿市岡田町1202-3
たなか歯科
電話 059-382-8148
FAX 同上
（鈴鹿支部）

謹んでおくやみ申し上げます



福田秀人先生（志摩支部）
去る6月3日、お亡くなり
になりました。
享年83歳

役員・会員名簿訂正

○役員名簿

33頁 障害者委員（四）早川豊治削除

○会員名簿

15頁 四日市支部

誤 歯科センター

正 四日市市歯科医療センター

47頁 中西敏也先生（津）

誤 津市中央2-5

ル・リバージュビル

正 津市中央2-5

ル・ソバージュビル2F

97頁 日本歯科医師会

広報課 電話 03-3262-9322

厚生会員課 電話 03-3262-9323

会計課 電話 03-3262-9324



秋本武男先生（亀山支部）
去る6月16日、お亡くなり
になりました。
享年79歳

本会会員数（7. 1現在）

一般会員 694名 勤務会員 23名

終身会員 130名 特別会員 3名

法人会員 5名 計 855名

日歯会員数 65,282名（5. 31現在）

新入会員 Profile

たなかかずなり

田中一生先生（鈴鹿支部所属）

1. 学歴

高校 愛知高等学校

大学 愛知学院大学（平成13年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

平成14年4月 永覚歯科クリニック

平成14年4月 港デンタルクリニック

3. 開業年月日

平成21年6月5日

4. 家族構成 妻

5. 大学の所属クラブ

卓球部

6. 趣味

旅行、自動車

告 知 板

三重県歯科医師親善ゴルフ大会開催決定!!

来る10月8日(木)、鈴鹿カントリークラブ西コースにおきまして、標記大会を開催することとなりました。関ICから2分ほどと便利で、4年前に中コースを使用して開催させて戴いたゴルフ場です。グリーンをベントに改修してまた違った趣になっております。

毎年ご好評を戴いております参加賞は、今回も「松茸」を予定しております。また、各賞につきましても、皆様に喜んで戴けますよう現在検討中です。

県歯会員の方ならどなたでもご参加戴けます。是非、皆様お誘い合わせの上、ご参加下さいませようお願い申し上げます。

各地区ゴルフ会にご参加の先生方には、幹事の先生方を通して、近々詳細をご案内させて戴く予定です。地区のゴルフ会に参加しておられない先生方は、下記まで直接お申し込み、お問い合わせ下さい。後日詳細をお知らせいたします。

秋の良い日を皆様とゴルフ大会で過ごせることを楽しみにしております。

幹事一同例年以上の大会にできるよう、努力しております。皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

三重県歯科医師会ゴルフクラブ 会長 笠原浩義

【申し込み・問い合わせ先】

津支部・川森歯科クリニック 川森英司

TEL：(059) 233-6480 / FAX：(059) 233-6482

E-mail：snc54743@nifty.com

お申し込みの方は、お名前、所属支部、生年月日をご記入の上、FAXかメールにてご送付戴きますようお願いいたします。

改めて、ご連絡をさせて戴くことがあるかも知れませんが、宜しく願い申し上げます。

“歯科経理帳”等斡旋販売について

ご希望の先生は当組合宛お申し込みください。

三重県歯科医師協同組合

歯科経理帳 (12か月分)	900円
収支日計表 (100枚綴)	600円
患者日計表 (100枚綴)	600円
領収書 (100枚綴)	450円

会員の広場

第64回

東海4県歯科医師親善ゴルフ大会開催される

去る5月28日(木)、静岡県歯科医師会ゴルフクラブ主催で静岡カントリー浜岡コースにおいて、盛大に開催されました。

大会は今回で64回目を数え、総勢90名と今回は少し寂しい感じでしたが、静岡の先生方にはお世話になりました。三重県からも14名の先生方にご参加戴き、前日から繰り出す方、当日早朝よりお越し戴いた方等あったようですが、ご協力ありがとうございました。

当日は残念ながら天候には恵まれず、地元の先生方も「いくら浜岡でもこの風は初めて」と言うほどの強風が吹き荒れ、コースでは木がへし折れる位で、立っているのさえ辛く、傘など差せる訳がありませんでした。

そんな中、前夜の“おふざけ”の賜物か、西岡久穂先生(松阪支部)が見事に優勝!準優勝も当県から輩出し、三重県が1,2フィニッシュを飾りました。

ご参加戴きました先生方、誠にありがとうございました。また、お疲れ様でした。

今回ご参加戴けなかった先生方も、次回は是非ご参加をお待ちしております。

次回は愛知県が幹事で、平成22年5月27日(木)に名門・春日井カントリークラブにおいて開催予定です。詳細につきましては、後日お知らせいたしますが、お一人でも多くの先生方のご協力とご参加をお願い申し上げます。

三重県歯科医師会ゴルフクラブ 会長 笠原浩義

平成21年1月診療分歯科診療報酬状況(三重県)

		社会保険			国民保険		
		1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数	1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数
一般	本人	2.0	595.7	1,168.0	2.0	590.6	1,208.3
	家族	1.7	535.5	933.0			
後期高齢者医療		—	—	—	—	636.3	1,363.7

平成21年2月診療分歯科診療報酬状況(三重県)

		社会保険			国民保険		
		1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数	1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数
一般	本人	2.0	610.2	1,201.7	2.1	620.0	1,274.3
	家族	1.8	546.1	964.3			
後期高齢者医療		—	—	—	2.2	672.8	1,463.9

互 助 会 各 部 の 現 況

(21. 6. 1 ~ 21. 6. 30)

第1部 (疾病共済)

入会 1名 退会 3名 累計 793名 2,330口

収入累計	201,418,558円	{	繰越	180,573,058円
			入金	20,845,500円

支 出 720,000円

残 高	200,698,558円	{	定期	98,000,000円
			普通	52,698,558円
			国債	50,000,000円

療養給付：4名

死亡給付：0名

第2部 (火災共済)

入会 1名 退会 3名 累計 813名 930口

収入累計	105,148,640円	{	繰越	104,206,065円
			入金	942,575円

支 出 0円

残 高	105,148,640円	{	定期	88,390,000円
			普通	16,758,640円

第3部 (災害共済)

入会 1名 退会 3名 累計 813名

収入累計	29,195,462円	{	繰越	27,983,962円
			入金	1,211,500円

支 出 0円

残 高	29,195,462円	{	定期	22,300,000円
			普通	6,895,462円

歯 科 国 保 組 合 の 現 況

平成21年4月保険給付状況

		件 数	費 用 額	保険者負担額 (金 額)
療養給付費	当月分	3,394	49,741,124	35,150,958
	計	3,394	49,741,124	35,150,958
療養費	当月分	77	559,274	392,311
	計	77	559,274	392,311
高額療養費	当月分	33		3,351,074
	計	33		3,351,074
移送費	当月分	—		—
	計	—		—
出産育児一時金	当月分	1		380,000
	計	1		380,000
葬祭費	当月分	1		80,000
	計	1		80,000
傷病手当金	当月分	18		539,000
	計	18		539,000

収支状況

(21年度5月累計)

区 分	金 額
歳 入 合 計	126,062,937
歳 出 合 計	46,180,411
収 支 差 引 残	79,882,526

収支状況

(20年度5月累計)

区 分	金 額
歳 入 合 計	116,557,764
歳 出 合 計	21,219,245
収 支 差 引 残	95,338,519

被保険者異動状況

(21年6月30日現在)

区 分	被保険者数	前月との比較
組 合 員	2,595	△ 7
家 族	1,868	8
計	4,463	1

編集後記

今期から初めて広報編集委員になりました。今までは情報の受け手でしたが、これからは発信する側に立つわけですから、いかに分かりやすく価値のある情報を伝えていくかを工夫していきたいと思います。

正直、今まで会報等はざっと目を通すぐらいでした。この立場になっていなければ隅から隅まで熟読したり、バックナンバーを引っ張り出して再読したりするようなことはなかったでしょう。県歯ホームページへのアクセスやメールチェックも

然り。今までは自分の必要な時にしかパソコンを立ち上げていませんでしたが、今では朝のニュースをテレビや新聞で見るようにパソコンに向かうようになりました。そうすることの必要性や価値が実感できるようになったからです。

これからは情報を得る手段も自分なりにもっと勉強したいと思っています。情報の価値と意味を嗅ぎ分け必要なものを的確に選んでいく、そんな「情報リテラシー」を身につけていきたいです。

(広報編集委員・森 誠 記)

■ 歯科医師協同組合からのお知らせ

協同組合のホームページを立ち上げました

*インターネットにてレセプト用紙・カルテ用紙等の各種用紙をご注文戴けるようになりました。

ご活用戴きますようお願い致します。

【掲載場所】三重県歯科医師会ホームページ→会員向けページ
→協同組合ホームページ